

換気に努めていただきますようお願いいたします。

※厚生労働省HP

「新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために」

→ <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000602323.pdf>

(2) タクシーによる路上横臥事故の防止に向けて～ドライバーへの注意喚起・教育のための映像集をHPに公開～【関東運輸局発】

(配信日：R2.3.6)

関東運輸局では、関東地区ハイヤータクシー協議会と合同で「タクシー事故防止対策検討会」を開催し、事故防止に取り組んでいます。

今般、飲酒などによる路上での寝込みや倒れ込み等の路上横臥者の轢過事故を防止することを目的として、実車とダミーを用いて路上横臥事故を再現した映像集を同検討会で作成しました。

○本映像集を関東運輸局HPに公開しましたので、ドライバー教育にご活用下さいますようお願いいたします。

※作成目的等の詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/2003/0302/cs_p200302.pdf

※映像集については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_gian/hoan/index.html

* 関東運輸局HP「事業用自動車安全情報関係」にジャンプします。「運転者教育・事故防止マニュアル等」の項目にあります「タクシーによる路上横臥事故の防止に向けて」をクリックし、開くではなく必ずデスクトップ等に一度「保存」して下さい。なお、編集できない読み取り専用となっていますので、保存したファイルを開く際には「編集を有効にする」はクリックしないで下さい。

(3) 自動車検査証の有効期間を延長します～新型コロナウイルス感染症対策～

(配信日：R2.2.28)

新型コロナウイルス感染症については、感染の流行を早期に終息させるために、クラスター（集団）が次のクラスター（集団）を生み出すことを防止することが極めて重要であり、徹底した対応を講じていく必要があります。

自動車検査証の有効期間満了後も自動車を使用しようとするときは、国土交通大臣の行う継続検査を受けなければなりません。早急に感染拡大防止策を実施す

る必要があるとともに、特に年度末の繁忙期には不特定多数の申請者が全国の運輸支局等の窓口に集中するため、感染拡大のリスクが増大することから、道路運送車両法第61条の2の規定を適用し、自動車検査証の有効期間を延長することとし、本日付けで公示しましたのでお知らせします。

○対象車両

自動車検査証の有効期間が満了する日が、2月28日から3月31日までの自動車全て

○措置内容

自動車検査証の有効期間を4月30日まで延長

○継続検査の手続き

対象車両については、4月30日までに継続検査を受検すれば引き続き自動車をご使用いただけます。

なお、有効期間の延長による自動車検査証の記載変更の手続きは不要です。

○自動車損害賠償責任保険（共済）の手続き（締結手続の特例措置）

継続検査を受検するまでに保険契約期間の終期が到来する保険契約については、継続契約の締結手続きが4月30日を限度として猶予されます。

詳しくは契約先の自動車損害賠償責任保険（共済）代理店等にご相談ください。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000239.html

(4) 輸送の安全を確保し、持続的な物流機能を維持するため、台風等による異常気象時における輸送の目安を定めます。～輸送の安全を確保するための措置を講じる目安の設定～

(配信日：R2.2.28)

台風等の異常気象時において、トラックによる貨物の運送を行う場合に輸送の安全を確保するための措置を講じる目安を通達として定めます。

これにより、異常気象時における輸送の安全を確保するとともに、トラックドライバーの生命や身体を守り、持続的な物流機能維持に寄与します。

1. 背景

昨今の台風等異常気象時において、トラック運送事業者が輸送の安全を確保することが困難な状況下で荷主に輸送を強要され、トラックが横転するなどの事故が発生しており、このような場合には、ドライバーの生命や身体が害されるおそれ

があることはもとより、トラック運送事業者は行政処分を受け、当初の運行計画が崩れることにより、物流全体の効率性が損なわれ、持続的な物流機能にも影響が生じるおそれがあります。

今般、こうした状況を踏まえ、台風等の異常気象時における輸送の在り方の目安を定めることとします。

2. 通達に定める内容

(1) 輸送の目安等

雨や風等の強さに応じた車両へ与える影響を示すとともに、輸送の安全を確保するための措置を講じる目安について定める。

(2) 輸送を中止した場合の対応等

運送事業者等が気象情報等から輸送を中止することとした場合には、直ちに荷主等へ報告する旨や、安全な輸送を行うことができない状況であるにもかかわらず、荷主に輸送を強要された場合には、国土交通省に設置する「意見募集窓口」等に通報いただきたい旨について定める。

3. 今後のスケジュール

施行日：令和2年2月28日（金）

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000210.html

(5) 新型コロナウイルスに係る予防・まん延防止の再徹底について（要請）

（配信日：R2.2.21）

新型コロナウイルスに係る感染予防対策として、マスクの着用、咳エチケット、手洗い等の対策を繰り返しお願いしているところでございますが、今般、複数のタクシー運転者への感染が確認されました。

バス、タクシー事業者の皆様におかれましては、次の対策を検討し速やかに措置していただくようお願いします。

また、従業員に新型コロナウイルスの感染が確認された場合には、速やかに各運輸局に報告していただくよう併せてお願いします。

1. 始業点呼時の対応

- ・運転者に疲労、疾病等を報告させる際には、体温測定による体調の確認を行うこと等により、運転者の健康状態を確実に把握すること
- ・マスクの着用等の感染予防対策が取れていることを確認すること

2. 体調不良が確認された際の対応

発熱やせき等の症状がある場合には、乗務を中止させ、速やかに医療機関に受診させる等、適切な対応を取ること

(参考)

○内閣官房新型インフルエンザ等対策室ホームページ

「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

○厚生労働省ホームページ

「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

(6) 新型コロナウイルス等の感染症対策の周知について（協力依頼）

(配信日：R2.2.7)

新型コロナウイルス等の感染症対策について、内閣総理大臣官邸HP（※）において、咳エチケット等のチラシがダウンロードできるようになっています。

事業者の皆様におかれましては、当該HPより当該チラシをプリントアウト等していただき、営業所、車内、バスターミナル等への掲示・配布等により、従業員及び利用者等への周知にご協力頂けるよう、よろしくお願いいたします。

※内閣総理大臣官邸HP

「新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～」

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(7) ボルトの錆や左後輪に注意！ 車輪脱落事故3年連続増加「厳しい状況」

～平成30年度大型車の車輪脱落事故発生状況について～

(配信日：R1.11.15)

平成30年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は81件（うち人身事故3件）と3年連続で増加し、ピークとなった平成16年度の87件に迫る厳しい状況となりました。

事故が発生した車両の傾向として、左後輪に脱輪が集中していることに加え、今般、新たにホイール・ボルトやホイールの錆の除去が不十分のままタイヤ交換されているおそれがあることが確認されました。

ボルトの錆の除去など適正な交換作業の実施、交換後、特に脱輪の多い左後輪の

